

エコアクション21

環境経営レポート

(対象期間：第71期 2022年7月1日～2023年6月30日)

2023年10月31日作成



柳沢建設株式会社

目 次

1. 環境経営方針
2. 取組の対象組織・活動
3. 活動組織
4. 環境目標及びその実績
5. 環境活動計画及び取組結果とその評価・次年度の取組み内容
6. 当社における環境への取組み
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境経営方針

<基本理念>

当社は公共事業が企業活動の中心であり、創業当時より多くの社会資本整備事業に携わってきました。公共工事分野においては道路改良・新設工事、建築工事、治山工事、舗装工事、上下水道工事等の工事を多数施工してきました。当社は、環境保全と会社の永続的な発展の両立こそが重要であると考えています。社員一人一人がその責任を自覚し、環境に配慮した持続可能な循環型社会づくりに取り組むとともに環境経営システムの継続的な改善に努めます。

1. 地球環境保護のため、省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量の削減に努めます。
2. 建設資材は、可能な限り再生材を使用します。
3. 建設現場での使用機械及び車両は、騒音対策や排ガス対策等の環境に配慮した物を使用します。
4. 建設現場において、リサイクル可能な物は分別し、産業廃棄物の最終処分量を削減します。
5. ボランティア活動等に積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。
6. 環境関連の法律を遵守します。
7. 全社員に環境に関する教育を行い、環境保全の意識を高めます。

制定日：2012年10月 1日

改定日：2023年 9月29日

柳沢建設株式会社

代表取締役 柳沢 洋一

2. 取組の対象組織・活動

○組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
柳沢建設株式会社
代表取締役 柳沢 洋一
- (2) 所在地
本社 長野県北佐久郡軽井沢町中軽井沢 22-6
第二事務所 長野県北佐久郡軽井沢町中軽井沢 23-2
塩沢資材置場 長野県北佐久郡軽井沢町塩沢 332
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 柳沢 泰弘 TEL : 0267-45-5458 FAX : 0267-45-0222
担当者 柳沢 友見 E-mail: info@yanagisawa-kensetsu.co.jp
- (4) 事業内容
総合建設業(土木・建築工事の設計、施工)

建設業許可：長野県知事許可(特-4、般-4) 第1696号
土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、管工事業
タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、
塗装工事業、内装工事業、水道施設工事業

エコアクション21取得 平成25年7月10日 認証・登録
- (5) 事業の規模
創立 昭和26年6月1日
設立 昭和28年6月8日

資本金 4,000万円
売上高 465百万円(第71期)

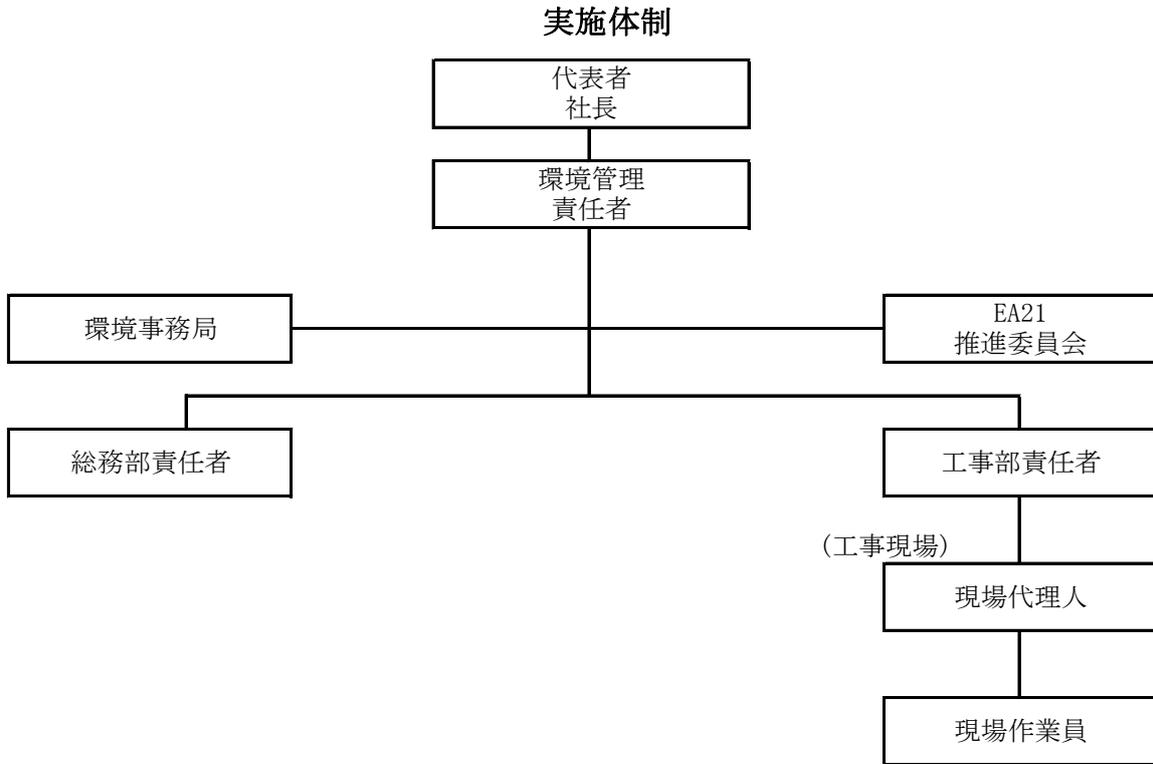
	本社	第二事務所	塩沢資材置場
従業員	5名	10名	無人
延べ床面積	132㎡	218.4㎡	2310.6㎡

- (6) 事業年度 2022年7月1日～2023年6月30日

○認証・登録の対象組織

登録組織名：柳沢建設株式会社 本社
柳沢建設(株) 第二事務所
塩沢資材置場

3. 活動組織



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境経営の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標及びその実績

○主な環境負荷の実績

環境への負荷	単位	2019年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	2023年度
電力	kWh	12,285	12,074	11,897	11,643
ガソリン	ℓ	11,284	9,516	7,733	7,964
軽油	ℓ	16,025	21,322	15,198	14,428
灯油	ℓ	6,356	6,288	6,543	6,051
廃棄物排出量	トン	948	2,684	883	1,447
一般廃棄物量排出量	トン	0.325	0.325	0.325	0.325
産業廃棄物排出量	トン	948	2,684	883	1,447
総排水量	m ³	165	164	162	165
CO2排出量（総量）	kg-CO2	89,608	97,133	79,485	75,807

○環境経営目標及びその実績

項目		年 度	基準値	2023年度			2024	2025
			2019年度 (基準年度)	(目標)	(実績)	(評価)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2		5,516	5,350	5,041	◎	5,295	5,295
	基準年比			97%	91%		96%	96%
ガソリン・軽油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2		68,253	66,205	55,700	◎	66,205	66,205
	基準年比			97%	82%		97%	97%
灯油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2		15,839	15,364	15,066	◎	15,205	15,205
	基準年比			97%	95%		96%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2		89,608	86,919	75,807	◎	86,706	86,706
コピー用紙使用量の削減	kg		147	143	142	○	141	141
	基準年比			97%	97%		96%	96%
産業廃棄物（As廃材等）の削減	t		948	939	1,447	○	939	939
	基準年比			99%	153%		99%	99%
節水	m ³		165	162	165	○	160	160
	基準年比			98%	100%		97%	97%
環境に配慮した機械の使用				更新時には環境に配慮した機械を選択	更新時には環境に配慮した機械を選択	○	更新時には環境に配慮した機械を選択	更新時には環境に配慮した機械を選択

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.433 k g - C O 2 / k W h (中部電力、2022)

5. 環境経営計画及び取組結果とその評価・次年度の取組内容

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・事務所等の照明は不必要なものは消灯	○	継続	基準年度-8.7%であった。ウォームビズ・クールビズ・節電など基本的な事項を徹底し使用量削減を行う。
・夜間、休日は、機器の主電源を切る	○	継続	
・空調の適正化	○	継続	
・使用していない部屋の空調は停止	◎	継続	
・クールビズ、ウォームビズ	◎	継続	
化石燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・アイドリングストップ	◎	継続	ガソリン使用量は昨年より増加したが基準年度を大きく下回った。軽油は基準年度10%減、灯油は基準年度4.8%減であった。受注工事の影響による。
・効率的なルートで運搬	◎	継続	
・急加速・急停車の防止	◎	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・分別ボックスの設置	◎	継続	昨年と同程度であった。分別の徹底を継続し、今後も排出量の削減を行っていく。
・裏紙使用	◎	継続	
産業廃棄物の削減			
数値目標	◎	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・建設資材発注時に使用数量を再チェックし残余建材の廃棄を抑制	◎	継続	今期は舗装工事の受注が多かったため排出量が増加した。
・分別の徹底	◎	継続	
コピー用紙使用量の削減			
数値目標	◎	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・裏紙使用	◎	継続	昨年度同様、裏紙使用の徹底により、使用量を抑えられている。
・データ保存の電子化	○	継続	
節水			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・節水シールの貼り付け	◎	継続	目標の基準年と同等で、僅かに削減目標に届かなかった。
・節水弁取り付け	△	継続	
・雨水による植木の水やり	△	継続	
環境に配慮した機械の使用			
・適正な車両整備	◎	継続	ハイブリッド車を1台導入した。
・更新時に低騒音車を選択	◎	継続	
社会貢献			
・融雪後、大雨後の林道パトロール	◎	継続	今年度もボランティア活動を実施した。引き続き行っていく。
・地域清掃活動	◎	継続	

6. 当社における環境への取組み

○環境上の緊急事態への準備及び対応

・社会貢献活動

毎年、軽井沢町の林道における災害状況の調査や災害時の道路パトロール訓練、環境美化活動等の社会貢献活動を実施しています。

環境上の緊急事態対応訓練・林道パトロール・災害対応訓練等実施状況



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

当社に関する主な環境関連法規制は次の通りです。

法規制等の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(As廃材、Co廃材、廃プラ等)の管理、排出	遵守
騒音規制法	特定建設作業の事前届出	該当なし
振動規制法	特定建設作業の事前届出	該当なし
道路法・道路交通法	道路使用許可の届出	遵守
水質汚濁防止法	油及び有害な化学物質の流出事故時の措置と届出	遵守
大気汚染防止法	事故時の措置と届出	遵守
建設リサイクル法	対象建設工事の分別計画等の届出	遵守
建築基準法	建築物の設計施工	遵守
労働安全衛生法(石綿)	解体、改修工事に伴う石綿等の除去作業	該当なし
排ガス対策型建設機械普及促進規定	排ガス対策型建設機械の使用	遵守

2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規等への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘、訴訟は過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価の実施

○代表者による全体の評価と見直し・指示

- (1) 電力の使用量は基準年度-9%減でしっかり抑えられている
- (2) ガソリン使用量は昨年よりも増加したが基準年度以下に抑えられた
今後もエコドライブ等の取組みを継続しムダを省いていく
- (3) 裏紙使用の励行により使用量を抑えられている
- (4) 車両の更新の際には、より環境に配慮した車両を今後も導入する
来年度は重機を更新予定
- (5) 今期も災害時を想定したパトロール訓練、環境美化活動に参加した
今後も社会貢献活動に積極的に参加していく

代表取締役 柳沢 洋一